

令和元年度 秋田県中央地区介護支援専門員協会 事業計画（案）

1. 基本方針

平成30年度の介護報酬改定に続き、本年10月には更なる介護報酬の改定が予定されている。

介護の人材不足は喫緊の課題であり、「新しい経済政策パッケージに基づく介護職員の更なる処遇改善」として、介護人材確保のための取組をより一層進めるため、経験・技能のある職員に重点化を図りながら、処遇改善として特定処遇改善加算が予定されている。居宅介護支援事業所の介護支援専門員は対象とはならなかったが、平成30年度改定における「ターミナルケアマネジメント加算」の新設、「入院時情報連携加算、退院・退所加算」の見直し等、自立支援や重度化防止のあり方を中心としたプラス改定であったことを考えると、現在の介護支援専門員の実績が、次期介護報酬改定において評価されることが予想される。これは、介護支援専門員への期待と同時に、役割が問われているとも言える。

また、今春、要介護者等の維持期・生活期リハビリが医療保険から介護保険に完全移行された。介護支援専門員には、リハビリテーション専門職をはじめとする、様々な専門職とのさらなる連携、協働が期待されている。

さて、元号が『平成』から『令和』に改元された。平成の時代を振り返ると、高齢化が急速に進み、「介護」が日本社会の大きな課題としてクローズアップされ、介護保険制度が生活者にとって身近な制度になった時代であった。昨今、介護を取り巻く環境も大きく変化し、AI（人工知能）、ICT（情報通信技術）、ロボット等といった「テクノロジーとの共存」や「科学的介護」「外国人人材の活用」等、介護保険制度施行当初には想像できなかった解決策が現実になっている。

そのような時代であるからこそ、「人間」にしかできない役割は何か、同時に介護支援専門員の希少性は何か、問われているように思える。

今年度は、以下の目標を掲げ、会員と共に歩む一年にしていきたい。

2. 目標

事業の安定的運営のための、会員の維持・増強、組織の強化。

住民、他職種から信頼され、必要とされる職能団体。

介護支援専門員の資質・価値の向上を図るための活動の実施。

介護支援専門員同士が繋がり、支え合える関係づくり。

3. 重点課題

1. 中央地区協会組織の強化

(1) 日本介護支援専門員協会及び秋田県介護支援専門員協会からの情報を、速やかに会員へ情報を届け、価値の共有を図る。

(2) 定期的な役員会の開催による、各圏域での協会の活動状況を共有、地区協会が担うべき役割、課題の明確化による、速やかな役割の遂行、課題の解決。

- (3) 地区協会および、各圏域での活動を研修会等で報告し、会員のための協会活動を目指す。
2. 介護支援専門員としての職能を守るための会員の維持・増強
 - (1) 安定的な協会活動の推進のための会員の増強。
 - (2) 安心して介護支援専門員としての職務を遂行するための顔の見える仲間づくり。
 - (3) 入会継続のための魅力ある活動の実施。
 - (4) 研修会の3圏域（男鹿南秋潟上圏域、秋田市、由利本荘にかほ圏域）での開催による、地区協会の繋がり強化。
3. 経営基盤強化のための地区事務局機能の強化と業務の効率化
 - (1) 会員・会費管理業務の簡素化。
 - (2) リコーリースによる会費納入の促進。
 - (3) コストを意識した安定的な運営の遂行。
4. 協会活動活性化のための計画的な部会活動
 - (1) 研修部会～介護支援専門員の資質向上を目指し、情勢や会員ニーズに合った研修会の企画。
 - (2) 広報部会～県協会のホームページやフェイスブック等による定期的な「文章と写真」による紹介。会員や住民、保険者に、県協会のホームページやフェイスブック等で定期的な紹介。介護支援専門員の役割・協会活動の理解、会員の加入のための広報活動の実施。
 - (3) 相談部会（県協会活動）～「顔（活動）の見える相談部会」。協会主催の研修や他団体のイベントでの相談ブースの設置、会員や住民の相談対応。
5. 会員メリットの周知
 - (1) 会員特典である日本介護支援専門員協会ホームページ（会員限定ページ）、メールマガジン活用の促進。
 - (2) 県協会ホームページ、Facebookによる活動の報告。
6. 他職能団体との連携強化
 - (1) 研修の開催情報や広報等の他職能団体への発信。
 - (2) 研修等の共催・後援の促進。
7. 地域貢献活動の検討及び活動への支援
 - (1) 地域課題等を拾い上げ職能団体としてできることの模索。
 - (2) 地域の介護保険に関与する活動への協力、支援。

4. 事業内容

1. 会務の運営

- (1) 総会の開催 年1回
期 日 令和元年 5月11日（土）
会 場 秋田県社会福祉会館 10階大会議室

- 議 案 議案第 1 号 平成 3 0 年度事業報告及び収支決算報告
平成 3 0 年度会計監査報告
議案第 2 号 令和元年度事業計画案及び収支予算案

(2) 役員会の開催 年 6 回 (偶数月 第 2 金曜日)

[第 1 回]

- 期 日 平成 3 1 年 4 月 1 2 日 (金) 1 5 時～
会 場 中央シルバーエリア内 御所野交流センター
案 件 1) 平成 3 0 年度事業報告および決算監査について
2) 令和元年度事業計画および予算案について
3) 総会及び研修会について
4) 第 1 回研修会について

[第 2 回]

- 期 日 令和元年 6 月 1 4 日 (金) 1 5 時～
会 場 中央シルバーエリア内 御所野交流センター
案 件 1) 日本協会、県協会報告
2) 各圏域報告
3) 課題共有、検討
4) 第 1 回研修会について
5) その他

[第 3 回]

- 期 日 令和元年 8 月 9 日 (金) 1 5 時～
会 場 中央シルバーエリア内 御所野交流センター
案 件 1) 日本協会、県協会報告
2) 各圏域報告
3) 課題共有、検討
4) 第 2 回研修会について
5) その他

[第 4 回]

- 期 日 令和元年 1 0 月 1 1 日 (金) 1 5 時～
会 場 中央シルバーエリア内 御所野交流センター
案 件 1) 日本協会、県協会報告
2) 各圏域報告
3) 課題共有、検討
4) 第 3 回研修会について
5) その他

[第 5 回]

- 期 日 令和元年 1 2 月 1 3 日 (金) 1 5 時～
会 場 中央シルバーエリア内 御所野交流センター
案 件 1) 日本協会、県協会報告

- 2) 各圏域報告
- 3) 課題共有、検討
- 4) 第3回研修会について
- 5) その他

〔第6回〕

- 期 日 令和2年 2月14日（金）15時～
- 会 場 中央シルバーエリア内 御所野交流センター
- 案 件 1) 令和元年度事業の振り返り
- 2) 令和2年度事業計画について
- 3) その他

(3) 監事会の開催 年1回

- 期 日 平成31年 4月

2. 介護支援専門員の資質向上を図るための研修会の実施

(1) 秋田県中央地区介護支援専門員協会研修会の開催 年3回

秋田市、男鹿南秋潟上、由利本荘にかほの3圏域で開催予定。

〔第1回〕

- 期 日 令和元年 7月頃

〔第2回〕

- 期 日 令和元年10月頃

〔第3回〕

- 期 日 令和2年 2月頃

(2) 県北地区及び県南地区主催研修会情報の提供（県協会費納入会員は参加無料）
開催予定は、ホームページ、Facebook ページに掲載予定。

(3) 関係機関等との合同研修会の企画

(4) 秋田市、男鹿南秋潟上、由利本荘にかほ、各圏域単位でのフォローアップ研修、
集いの場等の開催

5. 会議・研修への派遣

〔日本介護支援専門員協会関係〕

- ・日本介護支援専門員協会代議員 委員派遣（長澤利一）

〔秋田県介護支援専門員協会関係〕

- ・広報部会 委員派遣（西山まゆみ、工藤寿廣）
- ・研修部会 委員派遣（岩谷淳志、長澤利一、大滝和枝）
- ・調査研究部会 委員派遣（畠山北光、嵯峨善行、武田貴康）
- ・相談部会 委員派遣（鈴木信久、綿貫 哲、川俣澄人）

〔秋田県関係〕

- ・秋田県福祉保健人材、研修センター運営委員会 委員派遣（長澤利一）
- ・秋田介護労働懇談会 委員派遣（長澤利一）
- ・介護予防従事者研修会 講師派遣（長澤利一、大滝和枝、岩谷淳志）
- ・主任介護支援専門員指導力等向上研修会（長澤利一、大滝和枝、岩谷淳志）

〔秋田市圏域関係〕

- ・秋田市社会福祉審議会（高齢者専門部会） 委員派遣（照井寿和）
- ・秋田市地域密着型サービス運営協議会 委員派遣（照井寿和）
- ・秋田市地域包括支援センター運営会議 委員派遣（照井寿和）
- ・秋田市高齢者虐待防止連絡協議会 委員派遣（荒谷 亨）
- ・秋田市認知症施策検討委員会 委員派遣（綿貫 哲）
- ・秋田市在宅医療介護連携推進協議会 委員派遣（綿貫 哲）
- ・秋田市在宅医療介護連携推進協議会 多職種連携推・研修部会 委員派遣（綿貫 哲）
- ・秋田市介護認定審査会 委員派遣（長澤利一、綿貫 哲、照井寿和、川浪妙子）
- ・市立秋田総合病院 認知症疾患医療連携協議会 委員派遣（荒谷 亨）
- ・緑ヶ丘病院 認知症疾患医療連携協議会 委員派遣（星 佳子）

〔本荘由利にかほ圏域関係〕

- ・由利地域保健医療福祉協議会地域医療推進部会 委員派遣（大滝和枝）
- ・秋田県由利地域医療・介護・福祉連携促進協議会 委員派遣（大滝和枝）
- ・由利本荘地域包括ケア推進委員会 委員派遣（大滝和枝）
- ・由利本荘市認知症等高齢者見守り SOS ネットワーク推進委員 委員派遣（大滝和枝）

〔秋田県社会福祉協議会関係〕

- ・介護支援専門員研修委員会 委員派遣（綿貫 哲）
- ・介護支援専門員実務研修 講師派遣
- ・介護支援専門員専門研修（専門研修課程Ⅰ） 講師派遣
- ・介護支援専門員専門研修（専門研修課程Ⅱ） 講師派遣
- ・介護支援専門員更新研修 講師派遣
- ・主任介護支援専門員研修 講師派遣
- ・主任介護支援専門員更新研修 講師派遣

令和元年度 秋田県中央地区介護支援専門員協会
収 支 予 算 書 (案)

自 平成31年 4月 1日
至 令和 2年 3月31日

収入の部

単位:円

科 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減(△) (A)-(B)	備 考
1. 会費収入	2,341,500	2,304,000	37,500	継続会員 7,500 × 265名 = 1,987,500 新規会員 8,500 × 30名 = 255,000 賛助会員 31,000 × 3団体 = 93,000 6,000 × 1名 = 6,000 (個人)
2. 事業収入	75,000	90,000	△ 15,000	第1回研修会参加費(非会員5名×5000) 第2回研修会参加費(非会員5名×5000) 第3回研修会参加費(非会員5名×5000)
3. 助成金	150,000	150,000	0	秋田県介護支援専門員協会より (会員数×500)
4. 雑収入	0	0	0	
5. 繰越金収入	301,124	220,320	80,804	前年度繰越金
合 計	2,867,624	2,764,320	103,304	

支出の部

単位:円

科 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較増減(△) (A)-(B)	備 考
1. 会議費	70,000	60,000	10,000	役員会・監事会交通費等
2. 事業費	395,000	350,000	45,000	講師謝礼・会場使用料等、 圏域活動費(30,000×3=90,000)
3. 全国等会費	2,042,500	2,010,000	32,500	継続会員:265×6,500=1,722,500 新規会員:30×7,500=225,000 賛助個人:1×5,000=5,000 賛助団体:30,000×3=90,000
4. 事務費	250,000	180,000	70,000	通信費、事務消耗品(コピー用紙、封筒等)、振込み手数料
5. 雑支出	105,000	150,000	△ 45,000	日本協会開催研修参加交通費等
6. 予備費	5,124	14,320	△ 9,196	
合 計	2,867,624	2,764,320	103,304	